

丸亀市市民交流活動センターマルタスの運営状況について

1. マルタスの利用状況

■ 「交流」…活動や情報の交流

| | 来館者数（人） | 市民活動参加者数（人） | HP アクセス数（※1） | インスタグラム登録者数(人) |
|----------------------|---------|-------------|--------------|----------------|
| 令和2年度 (R3.3.22開館) | 26,324 | 266 | 9,482 | — |
| 令和3年度 | 575,003 | 4,532 | 161,774 | 3,927 |
| 令和4年度 | 768,328 | 8,584 | 187,252 | 5,163 |
| 令和5年度 | 796,749 | 10,214 | ※2 215,242 | 5,818 |
| 令和6年度 | 808,292 | 11,712 | 222,942 | 6,275 |

※1 セッション数 …HPへ訪問した回数。複数のページを見ても1回とカウント

※2 R5よりグーグルアナリティクス（Webアクセス分析ツール）がUAからGA4に変更

■ 「活動」…市民活動支援

| | 市民活動登録（件） | 市民活動相談（件） | 市民活動開催（件） | マルタス自主企画（件） |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 令和2年度 | ※3 43 | 55 | 10 | 12 |
| 令和3年度 | 173 | 1,129 | 230 | 244 |
| 令和4年度 | 264 | 705 | 748 | 196 |
| 令和5年度 | 246 | 801 | 951 | 201 |
| 令和6年度 | 251 | 752 | 1,095 | 203 |

※3 R3年度分をR2年度中に登録したもの

2. 令和6年度の主な取組

①支援事業

■市民活動交流会（毎月開催）

活動に関する悩みや課題を交流会のテーマとし、コミュニケーションを取りながら、新たなアイデアを考えたり、人々のつながりづくりを目的に開催。

■市民活動相談会

支援センターでの相談窓口（予約不要）とは別に市民活動相談会を実施。事前予約制とすることで、より深い相談に対応することが可能。今後の活動ビジョンについての相談や活動周知に関する相談など、課題に向き合いながら整理することも可能。

■セミナーや講演会の開催

- ・【セミナー】日本郵政と始める！はじめての助成金活用セミナー
(令和6年10月2日)

日本郵便の「日本郵便年賀寄付金配分事業」の担当者より、事業の概要及び申請方法の説明に加え、「申請書の書き方やコツ」や「審査のポイント」等も聞ける内容となっている。難しい印象の助成金申請だが、初心者にも分かりやすく前向きに利用を検討していただくことを目的に開催。



- ・【研修会】 聞くスキルを磨いてコミュニケーション力を高めよう
～プロから学ぶコーチング研修体験会+全4回～（令和6年11月～）
講師：国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ 平本正則氏
コミュニケーションにより、相手の気づきを引き出し、自発的な成長を促すためのスキルを学ぶ研修会。活動者より「もっと話を聞くスキルを磨きたい」との希望を受けて企画したもので、傾聴や質問、フィードバックなどを講義やロールプレイを通じて習得することを目的に開催。



- ・【講演会・交流会】 地域×教育～子どもたちを社会で育てる地域～（令和7年3月15日）
講師：特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重幸恵氏
社会がめまぐるしく変化し、未来予測が不可能な今、地域社会も家庭も、未来の創り手である「子どもたちを育む環境」に大きな課題を抱えている。市内外の実践事例にも触れながら、丸亀の良さを活かしながら、子どもたちを育むために何が必要かを一緒に考えた。



②17 コミュニティの活動展示：(令和6年7月10日～令和7年4月10日)



日頃コミュニティとの関わりが少ない方や若い世代の方に、コミュニティの活動をより身近に感じてもらえるよう、それぞれの地域の特徴や人物紹介をまとめ展示を実施。

事前の取材では人の魅力を強く感じ、人の温かさが伝わる展示となるよう努めた。

展示期間；1 地区につき、約 1 カ月

③人とのつながりや活動の広がりの可視化

マルタス開館を機に活動を始め、継続して活動している方々にインタビューを実施し、活動を始めた「きっかけ」や「これまで」、「これから」をお聞きし、HP や Facebook で特集記事「Expanding Story～まるがめの市民活動～」を随時発信中。以下、マルタス HP より抜粋。



団体名：まるまま
(2024年11月23日掲載)

今回は、「まるまま」を取材しました。
助産師という資格や知識を活かし「地域のママたちが笑顔になれる場所を作りたい」と活動を行う3人のストーリーです。



助産師として地域で何ができるか

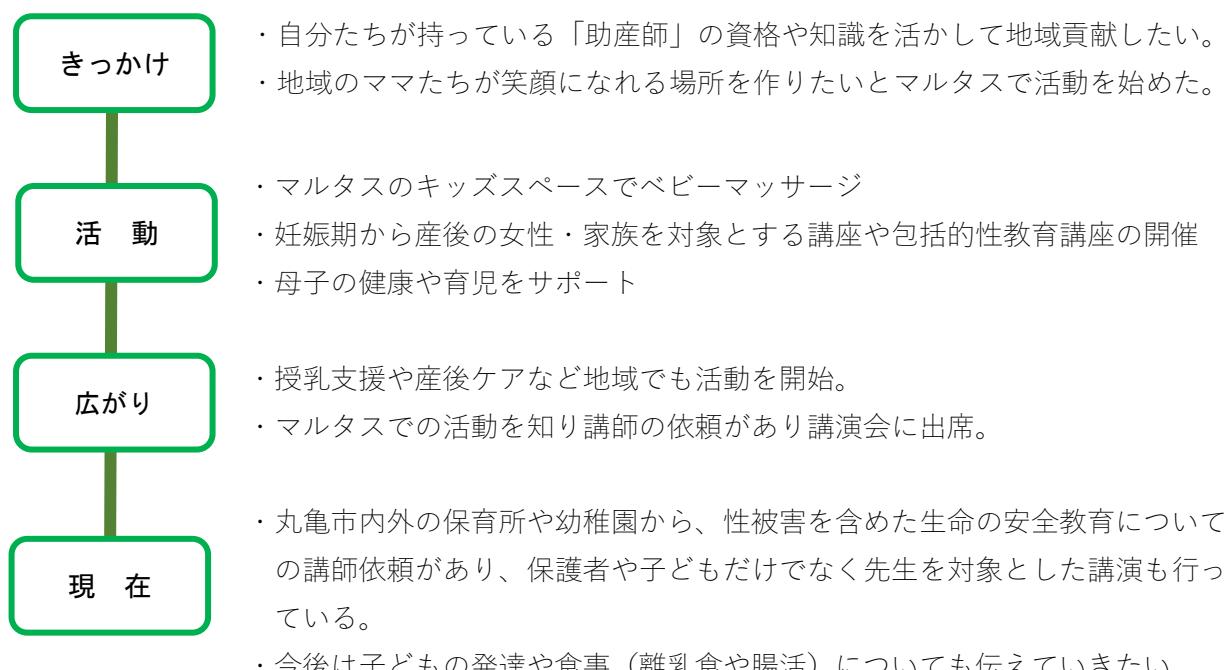
市民活動を行うようになったきっかけを教えてください。

—清時さん
私たちが持っている「助産師」という資格や知識を活かし、どんなことで地域貢献できるのだろう?と考えたときに「地域のママたちが笑顔になれる場所を作りたい」と思いました。その頃、マルタスがあるということを知り、ぜひ市民活動として活動していきたいと思ったのがきっかけです。

新たに市民活動を始める方へ、メッセージをお願いします。

—清時さん
チャレンジしたい気持ちや、したいことを叶えられる場所だと思います。何かを始めたいファーストステップにマルタスがあると私は思ったので、「やりたいな」と思われる方は、ぜひぜひチャレンジしていただきたいなと思います。

—佐々木さん
私は、最初のまるままの登録時からではなく、2人が活動をされて約一年後に仲間に入れてもらいました。それまでは、市民活動はしたことはありませんでしたが、関わってすごく奥が深いなと感じます。活動でいうと、私は性教育の話などはしたことがなかったのですが、8月に初めて性教育のお話を聞く機会をいただきました。手探り状態ですが前に進んでいて、本当にチャレンジする場所なのかなと思います。





団体名：特定非営利活動法人

くれよんきっず

(2024年11月19日掲載)

『現場で働く保育士や福祉施設で働く皆さんや地域の子どもたち、保護者に笑顔で楽しく過ごせる時間を提供したい』と日々活動を行う皆さんのおいをぜひご覧ください。



「保育士や福祉施設で働く皆さん」を支援したい

特定非営利活動法人くれよんきっずは、もともと保育士として働いていた皆さんや現役の保育士の皆さんで結成された団体です。保育士として働く経験があるからこそわかる保育現場の実態があります。日々、子どもと向き合い、保育士として働いてきた経験を活かしたいとの思いから活動を始めました。



市民活動を広げるには

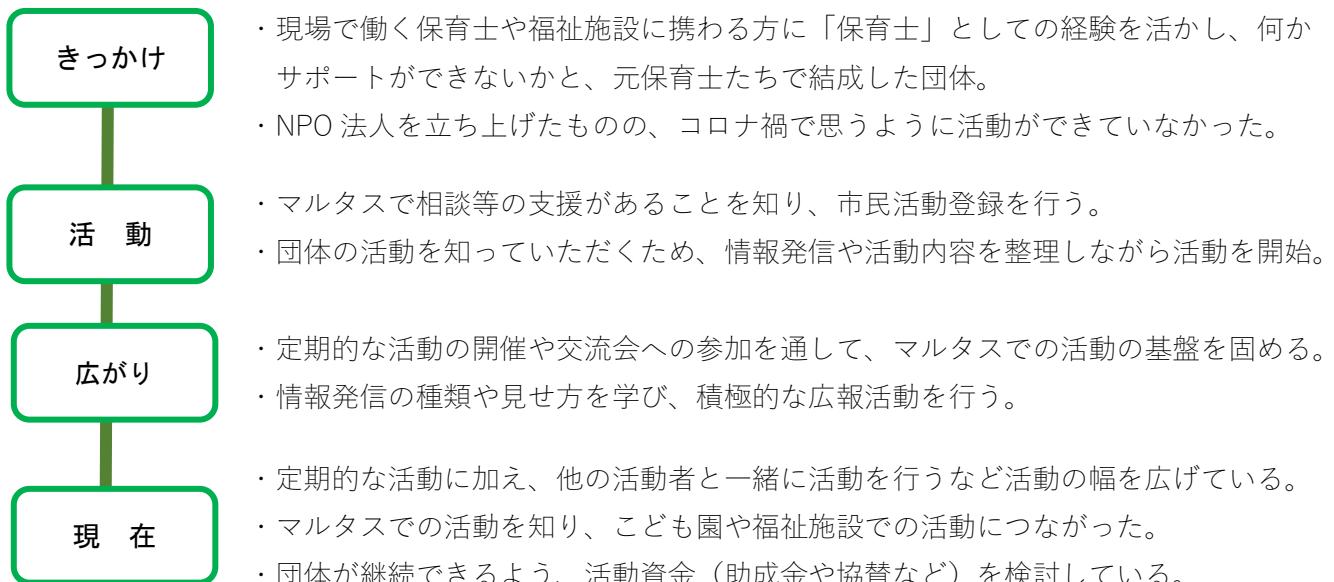
市民活動をしていると様々な課題にぶつかることもあると思いますが、どのように解決していますか。

—櫻井さん

NPOを立ち上げて、この年になってこんなことまでしないといけないのかと思うことが多いです。広報、経理、制作、イベント...とにかくしないといけないこと、新しくチャレンジしないといけないことがたくさんあります。

そんな中、マルタスで行われる交流会でSNSについて学んだり、県が主催するNPOの会計相談窓口に参加したりしてきました。特に私たちは活動する場所について悩んでいたので、活動場所としてマルタスがあって良かったと思います。イベントができないこと以外にも、チラシを置いておけること、メディアへプレスリリースという方法があること、いろいろなことを教えてもらいました。また、マルタスで活動するほかの活動者さんともつながることができました。

めざす活動としてはまだまだですが、それでも一步ずつそこへ近づいていけるのはこの場所のおかげかなと思います。私一人ではなにもできなかつたので思うので、みんながいてくれて良かったと思います。



■学生の自主活動に対する支援

・丸亀大文化祭実行委員会

令和5年3月に四国家サポートーズクラブが行った「まるがめ地域活性化プランコンテスト」で最優秀賞を獲得した「丸亀大文化祭」の実現に向けた取り組みに参加。高校生と地域の人々が交流する場をつくることを目的に、令和6年6月8日に開催。



令和7年度は、「丸亀のミライのためにジブンタチができること」をテーマに募集を行う。

- ・募集期間：令和7年6月1日（日）～8月31日（金）
- ・最終審査、表彰式：令和7年10月26日（日）

【申込先】

四国家サポートーズクラブまるがめ地域活性化高校生
プランコンテストプロジェクト

丸亀市市民交流活動センター「マルタス」（0877-24-8877）

・高校生ボランティア部 in まるがめ



丸亀市社会福祉協議会が市内の高校生を対象に令和5年6月に第1期が発足。

個々のボランティア活動に加え、高校生や大学生の社会貢献活動を顕彰する「まるがめ学生ボランティアアワード」を開催。マルタスは定例会への出席のほか、ボランティアアワードを共催で開催し、企画・運営等に参加。

・独立行政法人国立高等専門学校機構 香川高等専門学校

事業名：クラファンで解決まで導く簡潔型探求学習プログラムの実践



地域共創プラットフォーム香川「産官学共創チャレンジ支援補助金」を活用した事業で、香川高専とマルタス、ナイスタウンとの連携事業。

地域課題を解決する事業の立ち上げを目指したクラウドファンディングに挑戦する探究学習プログラムの実践。

市民活動者と学生とのワークショップで、地域課題を探り、子どもたちの農業体験を軸とした、地域活性と食育を目指す循環プロジェクトを企画した。事業の資金を集めるため、クラウドファンディングを行い実施予定。